

令和7年第1回定例会
2月議会

県議会

あ き た

だより

令和7年4月発行
No.191
全戸配布広報紙
年4回発行



大湯環状列石



伊勢堂岱遺跡



世界文化遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群 2021年(令和3年)登録

議会用語解説

【一般質問】とは？

全議員を集めて開く本会議において、県の施策の状況や今後の方針などを質問すること。

1人当たり30分の持ち時間の中で、知事、教育長、警察本部長などに対して直接質問することで、県の考え方をチェックし、県民の思いを県政に反映させる大切な機会。

また、質問者は、5分を限度に、答弁に対して一問一答方式により、再び質問することができる。



みうらえいち
三浦英一議員

[会派] みらい
[選挙区] 由利本荘市

●主な項目

- ① クマ対策について
- ② 農業政策について
- ③ 今後の秋田への期待と展望について



クマ対策 —ボランティア等を活用した対策—

Q 住民の安全・安心の確保とともに、地域内外における理解促進を図るためにも、官民一体となった対策が必要である。ボランティア等の活用の可能性について伺う。

A (知事) 現在策定中の管理計画(P3①)においても、県や市町村は捕獲や農地の被害防除等を担い、地域住民は児童生徒の安全確保やクマを寄せ付けない対策を担う役割分担を定めている。ボランティアの活用は、こうした地域住民の活動において大きな力になるものと認識している。

出没防止のための環境整備や安全確保につながる行動等に関する出前講座を実施しており、地域の見守り等のボランティア活動につながることを期待している。

農業政策 —水田活用の直接支払交付金—

Q 5年水張りルール(P3②)について、国から水張りの要件は求めないとする方針が示された。この見直しをどのように受け止めているか。また、混乱を招いた現場に対して、今後どのように周知していくのか。

A (農林水産部長) 生産現場からは、撤回や交付金なしでは継続困難との声があった。今般の方針転換は、そうした意見に配慮したもので、そうした意見に配慮したもので、生産者から歓迎されていることから、高く評価されるべきと考える。

新制度については、概要や検討状況などの情報収集に努め、生産者に速やかに、分かりやすく周知するとともに、現場の実情を踏まえ、多様な農作物の生産拡大につながる制度となるよう要望していく。



つる た ゆ う じ
鶴田有司議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 横手市

●主な項目

- ① 佐竹県政の振り返りと今後への期待について
- ② 魅力ある高校づくりについて
- ③ スポーツの競技力向上について
- ④ 農業政策について
- ⑤ 今後のインフラの維持管理について



魅力ある高校づくり

Q 高校の再編整備は、生徒数が減るから統合するという単純な数合わせではなく、統合により学校に特色を持たせ、魅力化を図ることが重要である。横手市内の3校を統合して新たに設置する横手地区統合校について、増田まんが美術館を活用してマンガ学科を創設するなど、大胆に進めるべきではないか。

A (教育長) 令和7年度に、3校による基本構想案検討合同委員会を立ち上げる。特に、多様な学びを選択できる総合学科では、地域や学校関係者等の意見も参考にしながら、柔軟な発想の下、地域の教育資源を効果的に活用した新たな学びの可能性について検討したい。

今後のインフラの維持管理

Q 昭和の高度成長期以降、集中的に整備された橋梁やトンネルなどの道路施設の多くは、整備から50年以上経過している。老朽化が原因と思われる陥没事故が発生し、不安を感じている県民も多い。どのように次の世代へ引き継ぎ、維持管理していくのか。

A (建設部長) 県が管理するインフラ施設は、長寿命化修繕計画を策定し、効率的な修繕等に取り組んでいる。令和7年度、県管理道路のあり方検討事業を立ち上げ、道路施設の集約・撤去や路線の存廃の可能性を検討する。維持管理については、国や市町村とも連携し、あらゆる手法を組み合わせながら、総合的かつ多角的な視点でマネジメントを推進する。

Glossary

用語解説

【①管理計画】

知事は、生息数の増加や生息域の拡大により農林水産業被害など、人とのあつれきが深刻化している鳥獣について、生息数や生息域を適正に管理するため「第二種特定鳥獣管理計画」を定めることができるとされており、本県では、ツキノワグマやイノシシなど計6種について策定している。

【②5年水張りルール】

国の「水田活用の直接支払交付金」において、水田機能を維持しながら畑作物を生産する農地については、水稲との輪作を促す観点から、令和4年度からの5年間に一度も水張りが行われない場合、9年度から交付の対象としない方針のこと。大豆や湿害に極めて弱いそば、5年を超える間隔で輪作が行われているリンドウやアスパラガスなどの品目において、5年水張りルールへの対応が課題となっている。



一般質問



いまかわゆうさく
今川雄策議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 秋田市

●主な項目

- ① 秋田港の整備について
- ② 県内における特殊詐欺被害の対策について
- ③ 交通事故防止に向けた取組について
- ④ 警察官の採用状況について
- ⑤ 教員の確保及び能力向上に向けた取組について
- ⑥ 知事のこれまでの成果と新知事に対する期待について



警察官の採用状況

Q 採用状況についての現状認識と令和6年度の取り組み状況、今後の採用者確保に向けた打開策を伺う。

A (警察本部長) 令和5年度は受験者数が過去最少、最終倍率も2.0倍と過去最低であった。6年度はSNSの情報発信の強化や警察学校でのオープンキャンパス開催日の見直しなどにより、受験者数は増加し、最終倍率は2.4倍となった。

7年度からは、民間志願者等が受験しやすいよう、既存の教養試験に加え、^{エスピーアイ}SP_I試験(P5③)を導入予定である。また、エリア採用(P5④)、警察官経験者向けの再採用試験を実施する。引き続き、就職適齢者の動向を分析し、効果的な施策を取り入れ、優秀な人材確保に努める。

教員確保に向けた取組

Q 志願者を増やすためには、児童生徒に対して早期からの意識付けが必要である。教員採用に関する現状認識と今後の教員確保に向けた取り組みを伺う。

A (教育長) 各学校において、学び合いを通して教える楽しさを実感できる特色ある教育活動を推進しながら、「教育立県あきた」で育った子どもたちが、将来、教員としてふるさと秋田を支えていこうとする気概を持てるよう、キャリア教育の充実を図っている。

引き続き、教員一人ひとりの資質向上に努めるとともに、さまざまな機会を通してやりがいを直接伝え、教員を目指そうとする子どもたちの志を大きく育てていく。

県北部への通信制高校の設置

Q 教育の地域間格差をなくし、全ての子どもたちに学ぶ機会を保障するため、県北の高校への通信制課程の導入を決断してもらいたい。

A (教育長) 通信制高校の設置には新たな教員配置が必要で、教員定数が減り続けている現状では実現は難しいものの、秋田^{めいとくかん}明德館高校通信制課程に在籍する県北地区の生徒のために、令和7年度後期から、定期試験を大館^{ほろめい}鳳鳴高校定時制課程の校舍でも受けることができるよう準備を進めている。

秋田明德館高校通信制課程が、県北をはじめ、県内どこにいても学びやすく、生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かで質の高い学びの場となるよう、関係各校等と連携し、教育環境の整備に努めていく。

民謡会館

Q 秋田の文化は多くあるが、まずは歴史のある秋田民謡を披露する殿堂として、民謡会館を秋田駅周辺に建設するよう切望する。

A (知事) 民謡に触れる場所や機会は少しずつ増えている。既存の施設や飲食店等を活用し、より気軽に、日常的に民謡を楽しんでもらう場を創出できるよう、地元自治体や商工団体、担い手となる民謡関係者等と協議を進めていく。

教育委員会においても、過去の調査により録音された1,000曲を超える民謡の音源をデジタル化し、後世にわたり聴くことができるよう準備を進めており、それらの有効活用について模索するなど、民謡文化の保存や継承につなげていく。



いしだひろし
石田寛議員

[会 派] 立憲民主党
[選挙区] 大館市

●主な項目

- ① 戦後の秋田県の歩みと佐竹県政16年の総括について
- ② 世界コメ博覧会について
- ③ 工業用水道の活用について
- ④ 県北部への通信制高校の設置について
- ⑤ 公契約条例について
- ⑥ 民謡会館について
- ⑦ 白神山地の利活用について





すぎもととしひこ
杉本俊比古 議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 男鹿市

●主な項目

- ① 知事の今後の県政への思いについて
- ② 八郎湖の水質対策について
- ③ 学校教育に関わる課題について
- ④ 男鹿海洋高校と男鹿工業高校の統合計画について



八郎湖の水質対策
—八郎潟周辺干拓造成施設の老朽化対策—

Q 干拓地周辺の造成施設のさらなる老朽化対策を切望する地元協議会の声をどのように受け止めているか。また、今後の対応について、次期知事にどう引き継ぐのか。

A (知事) 特に、排水機場は機能低下が見られ、短時間での集中豪雨など、気象変化への対応が課題である。
県では、これまで、15カ所の排水機場で改修を進めてきているほか、排水路や水門等の老朽化対策を話し合う協議会には当初から参加し、必要な助言等を行っている。
次の知事の下でも、協議会と共に現状把握に努め、国とも十分に連携し、今後の対策について検討を進めることが必要と考える。

男鹿海洋高校と男鹿工業高校の統合計画
—寮の新設—

Q 統合校の特色ある教育内容を全国の中学生にアピールするためには、寮の新設が求められる。風と海の学校 あきた(P5⑤)と男鹿海洋高校の相乗効果を最大化するためにも、男女とも入寮可能な寮の新設に指導力を発揮してほしい。

A (教育長) 開校に向けて、現男鹿海洋高校の学校寮を、男女とも入寮できるように改修する予定である。
統合校が、産学官連携による先端技術に対応した特色ある教育活動を展開し、洋上風力発電をはじめ、地域産業に貢献する人材を育成する学校として、県内はもとより、全国からも高い志を持った生徒が集まる魅力ある学校となるよう、男鹿市の協力を得ながら準備を進める。

Glossary

用語解説

【③SPI試験(総合適性検査:Synthetic Personality Inventory)】

知的能力を測る「能力検査」(基礎能力検査、英語能力検査、構造的把握能力検査)と、人となりを把握するための「性格検査」で構成されており、民間企業の採用試験において広く採用されている。秋田県警察採用試験では、基礎能力検査を実施する。

【④エリア採用】

警察学校を卒業後の勤務地を、原則、県北エリア(鹿角、大館、北秋田、能代警察署の各管内)とするもの。



【⑤風と海の学校 あきた】

県立男鹿海洋高校の校舎と旧船川南小学校の一部を活用した洋上風力発電の総合訓練センター。年間1,000人程度の訓練修了生の輩出を目指している。

一般質問



おの かっひこ
小野一彦 議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 由利本荘市

●主な項目

- ① 今後の地域医療における看護職員の役割や求められるスキルについて
- ② 深刻な看護職員の不足等をもたらす今後の地域医療への影響等について
- ③ 地域に根ざした看護学校の人材育成・供給力を活かすためのサテライト化等の仕組みづくりについて
- ④ 看護職員のキャリアアップによる処遇改善の推進について
- ⑤ 看護職員の秋田へのAターンや移住の促進について
- ⑥ 介護分野における外国人材の誘致・育成・定着について



深刻な看護職員の不足等をもたらす今後の地域医療への影響と対策

Q 看護師の需給状況を年齢構成で捉え、若年層の定着に全力で取り組まなければ、3圏域の二次医療圏の機能発揮にも大きな影響がある。地域医療構想調整会議はもちろん、広く県民や市町村へ情報提供を行い、地域社会の課題として共有し、市町村等による支援の強化につなげるべきではないか。

A (健康福祉部長)さまざまな機会を捉え、若年看護職員の確保の重要性を市町村と共有し、県の支援制度に加え、市町村による奨学金制度や看護師養成所への支援等の先進的事例も広く周知を図るなど、全ての市町村と県、地域の医療機関との協働により、看護職員の確保に向けた取り組みを進めていく。

地域に根ざした看護学校の人材育成・供給力を活かすためのサテライト化等の仕組みづくり

Q 看護師養成所の負担軽減と、学生の地元で働きたい、貢献したいというニーズを1人ももらさず確実に受け止め、県内定着につなげるため、各養成所の運営主体を1つにし、サテライト校として運営する仕組みづくりを関係機関と連携し、取り組む必要がある。支援制度の創設を進めるべきではないか。

A (健康福祉部長)県内の養成所間で授業を共通化し、遠隔授業を実施することについて意見交換した。他県の情報等を共有し、課題解決の手法等を引き続き検討するほか、生徒数の推移などの見通しやサテライト化の先進事例等の情報を示し、持続可能な看護師確保体制の構築について協議していく。



ぬま や じゅん
沼谷純 議員

[会 派] 次の世代につなぐ会
[選挙区] 秋田市

●主な項目

- ① 退任にあたっての知事の思いと県庁のあるべき姿について
- ② 洋上風力発電の今後の動向について
- ③ 新たなスタジアムの整備について
- ④ 秋田市外旭川地区の開発計画について
- ⑤ 新県立体育館の整備について
- ⑥ 県内企業の事業承継について
- ⑦ 市町村と連携した避難所機能の強化や備蓄の見直しについて



新たなスタジアムの整備

—整備費用や財源—

Q 今般、秋田市から八橋運動公園内の1万人規模のスタジアム整備方針が示されたが、整備費用や財源が一切示されていない。整備主体、整備費用、維持管理費用、財源などを示した上で、県民・市民の理解を得る必要があるのではないか。また、秋田市と同額の負担を求められることについてどのように捉えているか。

A (知事)秋田市では、現在、事業主体や整備手法などを市議会と協議しており、市からの提案を基に、具体的な協議を深めていく。

今後、機能や規模、財源見直しなどを検証しつつ、県議会の意見も伺いながら妥当な額を決める必要がある。クラブも可能な限り民間資金の調達に努めるのが望ましい。

市町村と連携した避難所機能の強化や備蓄の見直し

Q 県と市町村の間で、トイレやベッドなどをはじめ、共同備蓄に関する対象品目の見直しや計画的整備、役割分担を行っていく必要があるのではないか。また、その場合は、いつからどのように進めていくのか。

A (危機管理監)国の「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」(P7⑥)や市町村の備蓄状況等を踏まえ、県が広域的に整備すべき備蓄品や市町村と共同で整備する備蓄品の品目と数量について、速やかに調整を図る。

市町村と緊密に連携し、国の財政支援も最大限活用しながら、避難所における生活環境のさらなる向上を目指す。



う さ み や す ひ と
宇佐見康人議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 秋田市

●主な項目

- ① 東京一極集中の打破について
- ② 秋田県子ども計画について
- ③ 里親の普及に向けた課題解決について
- ④ ヤングケアラーへの支援について
- ⑤ 保育所等の公定価格における冷暖房費加算について
- ⑥ クルーズ列車の今後の方針について
- ⑦ 多様性に満ちた社会づくり基本条例制定後の県の取組状況について
- ⑧ 新スタジアムの整備について



東京一極集中の打破

Q これまでの地方創生や人口減少対策、今後の改善や取り組み強化についてどう考えているか。また、東京一極集中の是正に賛同する首長が多いにもかかわらず、前進しない原因をどのように分析しているか。

A (知事) 産業経済基盤の強化をベースに若者の県内定着・回帰に取り組んできた。今後は、多様な個性を認め合う社会の構築にも取り組む必要がある。

自治体が有する資源の配分に自らが関与できれば、地方分権の強化につながり、多極共存型社会への転換が図られる。地方は地方としての努力を前提に、政府がいかに関与を持つかが解決のポイントであると考えている。

里親の普及に向けた課題解決

Q 里親制度の一番の課題は、制度への理解不足である。誹謗中傷などがマッチングの解消につながったケースもある。こうした課題への認識と今後の対応策を伺う。

A (健康福祉部長) 令和7年10月をめどに里親支援センターを設置し、制度の普及啓発や里親への研修・実践的トレーニング、相談支援等のフォローアップを強化するほか、新たに里子の自立支援を行うなど、里子と里親への一貫したサポートを行う体制を速やかに整備していく。

センターが、児童相談所や里親連合会、児童養護施設等と連携を深めることなどにより、里親支援を着実に推進していく。

Glossary

用語解説

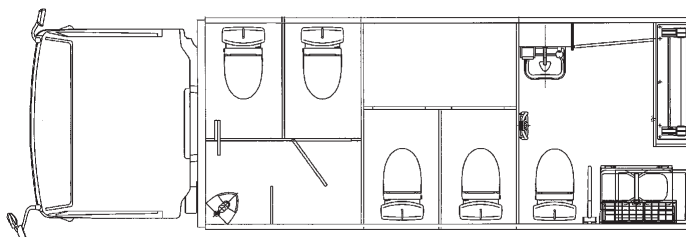
【⑥避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針】

国が、平成25年8月に東日本大震災の課題を踏まえ、避難所を運営する市町村等の取り組みの参考となる指針を策定。令和6年能登半島地震を踏まえた避難所の在り方の見直しにより、同年12月に、衛生環境に配慮したトイレの調達、適温での食事の提供、避難所開設時のパーティションや簡易ベッド等の設置、入浴や洗濯等に用いる生活用水の確保など、避難所の生活環境の向上が図られるよう改定した。

県で導入予定の大型トイレカー



見取図



委員会審査（予算特別委員会分科会審査）

総務 企画 委員会

Q 公立大学法人の運営費交付金について、全国的に地方大学の運営が厳しい状況だが、県立の大学では学生の確保に向けて、どのような取り組みを行っているのか。

A 現状では、両大学とも十分な学生を確保できているものの、国際教養大学では、優秀な学生の確保に向けて、さまざまな特色ある入試制度を設けるなどの工夫を行っている。また、秋田県立大学では、女子学生の確保に向けて、受験科目の見直しや、卒業後の進路を見据えた**キャリアパス***の提示などを検討している。

*キャリアパス：目標とするポストや職務に就くために必要な業務経験やルートといった道筋のこと



国際教養大学



秋田県立大学

Q 行政サービスの提供の在り方に関する検討状況について、総合県税事務所の支所を集約し、サテライト窓口を設置するとのことだが、どのような体制を想定しているのか。また、県民サービスの低下につながらないか。

A 現在の7支所のうち、鹿角支所と雄勝支所を集約し、5支所とすることを想定している。サテライト窓口では、納税証明や自動車税の身体障害者減免の受付等を行うなど県民の利便性を確保しつつ、現金収納業務等は行わず、少数の職員による運営を考えている。なお、サテライト窓口の在り方については、引き続き検討していきたい。

農林 水産 委員会

Q 温暖化に伴い、全国的に農畜産物の高温障害が発生しており、本県においても高温技術対策の確立が急務と考えるが、今後どのように取り組みを進めていくのか。

A 既に、西日本の温暖な地域を中心として、さまざまな高温対策が実践されており、ハウスにおける**空動扇**の設置や遮光資材の活用などによって、一定の効果があるものと認識している。こうした技術を多くの農家が活用できるよう、県内の生産現場において実証し、その成果を基に、広く普及していく。



空動扇(拡大)

空動扇を設置したハウス
(出典:クボタアグリサービス(株))

Q 令和9年秋に開催される「第50回全国育樹祭」では、林業に携わる方や次代を担う子どもたちなど、多くの人に参加できるよう開催の仕方などを工夫すべきではないか。

A ニプロハチ公ドームで開催予定の式典行事では、参加者約5,000人規模を想定しており、林業関係団体等をはじめ、広く県民の参加を募ることにしている。また、式典行事等において、さまざまな役割を担う、県内の「**緑の少年団**」は、57の小・中学校などで設置され、緑を守り育てる活動を実践している。この「緑の少年団」には、今後開催予定のイベント等においても、県内での機運醸成のため活躍していただくことにしており、開催に向けて、県民がさらに盛り上がるよう取り組んでいく。

建設 委員会

Q 人口減少が進行している本県において、限られた財源の中で既存の道路を維持・管理していくためには、一部の路線の集約や撤去が避けられない側面もあると考える。「県管理道路の今後のあり方検討事業」において、廃止する路線等が決定されるのか。

A 廃止ありきではなく、まずは各路線や施設をどのような指標で評価するかなどの論点を整理し、市町村や学識経験者に加え、道路利用者等と十分に協議・調整を行った上で、今後の方針を決めたい。その上で、具体的な方針を示す際には、地域住民をはじめとする関係者と丁寧に合意形成を図っていきたい。

Q 元建設部職員の逮捕事案については、災害の発生に伴い、職員が一人に対応せざるを得ない状況であったことが一つの要因であるとする。業務の助言や指導、点検を行うチーム等を新設しても、再発防止策と並行して業務の見直しを進めなければ、根本的な解決に至らないのではないか。

A 新設する業務指導チームの下、いずれの部署においても再発防止策が徹底される体制を構築するとともに、デジタル化の推進などにより、業務の効率化を図っていきたい。加えて、災害等の突発的な事案にも複数人で対応できるよう、緊急時を想定した訓練を実施することとしている。

福祉 環境 委員会

Q 秋田県災害福祉支援センターでは、平時は災害派遣福祉チーム(DWAT)の養成等を、災害時は福祉的支援等を行うが、災害時にDWATが機能するためには、平時から関係機関と連携体制を構築することなどが重要ではないか。

A 本県のDWATの体制整備が遅れていたことや、令和5年の大雨災害の際に福祉施設の被害が大きかったことなどから、同センターを設置する。他地域で災害が発生した際は積極的にDWATを派遣して経験を積み、併せて市町村へDWATの周知を進め、連携を図っていきたい。



市町村との実地型訓練

Q 災害発生後の廃棄物処理のため、市町村職員のスキルアップに向けて、県と市町村が協働して人材育成を行うことも考えられるのではないか。

A これまでも座学による研修や仮置場の管理運営に関する実地型訓練等を実施してきたが、民間団体と協定を結び、有事の際には、被災市町村をバックアップする体制を整備している。

産業 観光 委員会

Q 「新県立体育館モニタリング事業」では、PFI^{ピーエフアイ}事業者の適正なサービスの確保のために業務監視等を行うが、PFI事業者に期待される役割を果たしてもらうためには、体育館の供用開始後の運営までモニタリングが必要と考えるがどうか。

A モニタリングは、施設整備から維持管理運営まで、県が主体となって継続して行っていく。ただし、専門性の高い事項には、外部コンサルタントの支援が必要であり、今後、運営期間の全てで委託を行うかは、令和7年度の実施状況や業務の専門性などを見極めた上で考えていきたい。

※PFI：民間資金・ノウハウを活用する公共事業手法

Q 「あきたの伝統工芸品海外市場マッチング事業」では、世界最大規模のデザインイベント「ミラノデザインウィーク」に伝統的工芸品を展示し、欧州市場の開拓と産業デザイン人材の育成を図るが、これに加えて、インバウンド需要の取り込みも視野に入れるべきと考えるがどうか。

A 出展会場には、欧州各地からバイヤーやデザイナーが集まることから、市場開拓に向けた関係構築に努めるとともに本県の伝統的工芸品を広く認知させることにより、インバウンド需要の取り込みにも寄与していきたい。



ミラノデザインウィークに展示予定の川連漆器カップ

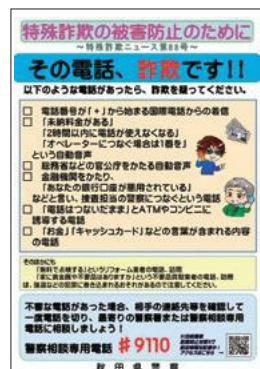
教育 公安 委員会

Q さまざまなツールにより、被害防止の広報を行っているものの、最近は投資詐欺等による若い方々の被害も増えていることから、全世帯にチラシを配布するなど、被害防止にさらに力を入れるべきだと思うがどうか。

A 地域巡回において、特殊詐欺のさまざまな手口や注意点を掲載したチラシを配布しているものの、近年、高齢者世帯の訪問率90%台に対し、全世帯では60%台と低いことから、高齢者世帯のみならず多くの家庭を訪問し、対面により注意喚起していきたい。

Q 今後、秋田の子どもたちにもどのような教育をし、どのような力を付けていきたいと考えているのか。

A 国では「主体的・対話的で深い学び」としているが、自ら考え、仲間と協働しながら、社会におけるさまざまな場面で活用できる知識を身に付けていく必要がある。今後は、ふるさと教育やキャリア教育に関するさまざまな教育活動において、各教科で身に付けた知識を結び付け、将来、社会で活躍できる人材を育てていきたい。



チラシの一例

予算特別委員会

Q 本県沖2海域（「能代市・三種町・男鹿市沖」、「由利本荘市沖」）における洋上風力発電事業について、資材価格高騰等事業環境の変化により、発電事業者が計画の見直しを行っているようだが、県はどのように受け止めているか。また、計画の見直しにより参入に向けて準備をしていた県内事業者への影響が懸念されるが、どのように考えているか。

A 発電事業者に対しては、可能な限り早期に今後の方向性を示すよう申し入れており、夏頃までには結論を出したい旨伺っている。悲観的に見る必要はないが、引き続き注視していきたい。また、参入を目指す県内事業者からは、不安視する声も聞かれることから、引き続き発電事業者等と県内事業者とのマッチングに取り組むなど支援していきたいと考えている。

第79回国民スポーツ大会
冬季大会スキー競技会
「あきた鹿角国スポ2025」

2月13日から16日まで、第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「あきた鹿角国スポ2025」が開催され、北林丈正議長が、開始式で歓迎のことばを述べました。本県選手団は、県民の期待に応える活躍を見せ、男女総合第4位、女子総合第2位という好成績を収めました。選手、関係者の皆さまのご努力に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。



MOVIE





3月3日



3月4日

令和7年第1回定例会(2月議会)表決状況

議案等	件名 ※下記以外の議案等については全会一致で可決されました。 ※2月議会の本会議における表決状況は右の二次元コードからご覧になれます。	議決月日	議決結果	表決者数	賛成者数	反対者数	自民			
							高橋 健	武内 伸文	小棚木 政之	高橋 豪
	 2月17日	 3月6日								
知事提出	令和6年度秋田県電気事業会計補正予算(第3号)	2/17	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	令和7年度秋田県一般会計予算	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	令和7年度秋田県電気事業会計予算	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	秋田県標準事務関係手数料徴収条例の一部を改正する条例案	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	秋田県北部老人福祉総合エリア条例等の一部を改正する条例案	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	秋田県総合保健センター条例の一部を改正する条例案	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	秋田県健康増進交流センター条例の一部を改正する条例案	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	企業職員の給与の種類および基準を定める条例等の一部を改正する条例案	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
	市町村立学校職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例案	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○
学校職員の定数に関する条例の一部を改正する条例案	3/6	原案可決	38	37	1	○	○	○	○	
請願	ハタハタ激減に対する秋田県の対応について(第15号)	3/6	不採択	38	6	32	×	×	×	×
	ハタハタ激減に対する秋田県の対応について(第16-1号)	3/6	不採択	38	2	36	×	×	×	×
	ハタハタ激減に対する秋田県の対応について(第16-2号)	3/6	不採択	38	2	36	×	×	×	×

議員提案により秋田県ケアラー支援条例が制定されました

3月6日の本会議において、秋田県ケアラー支援条例が可決されました。
この条例では、家族や身近な人を無償でケアするケアラーを早期発見し、支援していくため、県や市町村、関係団体等の責務や役割を明らかにし、互いに連携していくことなどが定められました。

ケアラーの問題は、家庭内のデリケートな問題のため表面化しにくいことから、周囲からの支援が行き届かず、社会的に孤立してしまうおそれがあります。

その中でも、ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない負担を抱え、勉強やスポーツ、交遊など、その成長過程に影響が及ぶことが懸念されています。

県では、こうした現状を踏まえ、LINEを活用した相談窓口を設置するとともに、ケアラー同士がオンラインで情報共有と相談ができる「つどいの場」を開催するなど、ケアラー支援に関する取り組みを進めています。

この条例により、ケアラーとその家族を地域で支えるための環境づくりを進め、必要な施策の一層の充実を図り、ケアラーを含む全ての県民が自分らしく生きることのできる社会の実現を目指します。



趣旨説明をする柴田正敏議員

秋田県ケアラー支援条例《基本理念》

- ①全てのケアラーが個人として尊重されなければならない。
- ②ケアラーとその家族の尊厳と権利に配慮し、一体的に支援する。
- ③県と市町村、関係団体等が互いに連携し、ケアラーの孤立を防ぐ。
- ④ヤングケアラーの教育の機会を確保し、健全な成長と自立を図る。
- ⑤ヤングケアラーが夢や目標を持てる社会を実現する。

ケアラーとは介護や看病、療育が必要な家族等を無償でサポートする人のことをいいます。

なや 悩みや、ふあん 不安な気持ちはありませんか？
あなたのおも 思いを聞く場所があります。

ケアラーサポート LINE秋田
どもだちつか 友達追加はこちら

秋田県ホームページ
ケアラーに関する 情報や県の取り組みはこちら

秋田県

自民：自由民主党 みらい：みらい 立民：立憲民主党 社民：社会民主党 つなぐ会：次の世代につなぐ会 共産：日本共産党 公明：公明党 きらり：きらり 賛否欄 「○」：賛成 「×」：反対 「議」：議長 「欠」：欠席

自民												みらい			立民			社民	つなぐ会	共産	公明	きらり															
瓜生望	島田薫	宇佐見康人	住谷達	児玉政明	小山緑郎	小野一彦	鈴木真実	佐々木雄太	杉本俊比古	佐藤信喜	今川雄策	高橋武浩	北林文正	竹下博英	原幸子	工藤嘉範	加藤鉦一	柴田正敏	川口一	鶴田有司	鈴木洋一	山形健二	佐藤正一郎	三浦茂人	渡部英治	三浦英一	櫻田曼子	薄井司	小原正晃	石田寛	加藤麻里	沼谷純	加賀屋千鶴子	松田豊臣	佐藤光子		
○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	
×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

●令和7年第1回定例会〔2月議会〕

■期間 2月3日～3月6日(32日間)

●議案の議決状況

知事提出議案

■予算 **可決 42件**

- ◆令和6年度秋田県一般会計補正予算(第5号)
465億5,465万円
ほか補正予算20件
- ◆令和7年度秋田県一般会計予算
5,773億4,500万円
ほか当初予算20件

■人事 **同意 2件**

- ◆秋田県教育委員会教育長の任命について
- ◆秋田海区漁業調整委員会の委員の任命について

■条例 **可決 39件**

- ◆秋田県子ども施策審議会条例案
子ども基本法に規定する子ども施策の推進に関する重要事項を調査審議するため、秋田県子ども施策審議会を設置しようとするもの
- ◆秋田県看護職員修学資金貸与条例の一部を改正する条例案
看護職員の県内の医療機関への就業定着を促進するため、県内で業務に従事した場合に修学資金の返還が免除される施設に、病床数200床以上の病院を加える等の改正を行おうとするもの

ほか37件

■その他 **可決 38件**

- ◆令和7年度次期総合防災情報システム整備事業に要する経費の一部負担について

ほか37件

議員提出議案

■条例 **可決 2件**

- ◆秋田県議会の保有する個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例案
- ◆秋田県ケアラー支援条例案

議員の辞職

ぬまや じゆん
沼谷純議員から3月6日に辞職願が提出され、同日の本会議で許可されました。

テレビ広報

「みんなに発信/明日へ発進/秋田県議会」

奇数月の最終日曜日に、秋田朝日放送(AAB)で午前11時から放送。次回は5月25日に放送予定。県議会の様子を分かりやすくお伝えします。放送後はYouTubeでも配信しますので、ぜひご覧ください。

YouTube



議会開催予定

令和7年第1回定例会
令和7年5月14日(水)～15日(木)

令和7年第1回定例会(6月議会)
令和7年5月26日(月)～6月19日(木)

※現時点での予定です。変更となる場合は、秋田県議会ウェブサイトでお知らせします。

表紙 北海道・北東北の縄文遺跡群

1万年以上にわたり採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える。
北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する17の遺跡で構成される。

大湯環状列石(鹿角市)



ひ ど ばいじょうくみいし
日時計状組石



鹿角市
ウェブサイト

伊勢堂岱遺跡(北秋田市)



ばんじょう
板状土偶



北秋田市
ウェブサイト